

負荷心筋血流シンチグラフィ

負荷心筋血流シンチグラフィ

～SPECT検査をお受けになる皆さまへ～

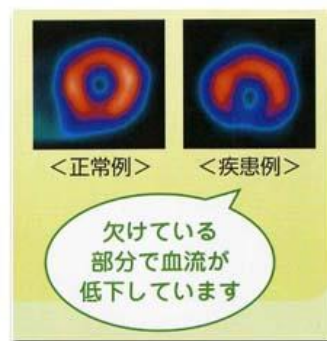
○ 核医学検査(RI 検査)とは？

核医学検査とは、ガンマ線という放射線を放出する検査薬(放射性医薬品)を注射し、臓器や病変部に取り込まれた検査薬から放出される微量のガンマ線をカメラで撮影し、体内の情報を得る検査です。投与される検査薬から放出される放射線は極めて微量で、副作用も心配ありません。検査薬は、速やかに自然な排泄作用によって、体から除去されます。

スペクト

○ 負荷心筋血流シンチグラフィ(負荷心筋 SPECT 検査)とは？

負荷心筋血流シンチグラフィでは、心臓の状態や動きを調べ、狭心症や心筋梗塞、心筋症などの病気の有無やその程度を診断します。また、心臓の心筋に栄養を運ぶ血流の流れ(状態)を見るのに有用な検査です。



○ 検査前の注意点は？

- ①朝の食事は必ず取って下さい。
- ②カフェインを含む飲み物(コーヒー、紅茶、日本茶など)は検査12時間前から摂取しないで下さい。(原則、水のみ可)

○ 検査の方法と流れ(9時開始の場合)

1. 1回目の放射性医薬品を静脈注射します。(9:00)



2. 注射後30分より1回目のSPECT撮像をします。(9:30)



3. 1回目の注射より約2時間後に負荷薬剤と2回目の放射性医薬品を静脈注射します。(11:00)



4. 2回目の注射後30分より2回目のSPECT撮像をします。(11:30)



※ 負荷薬剤を注射すると、動悸、胸痛、めまい、頭痛などの症状が出る場合があります。そのような症状がある場合は、すぐに医師、看護師にお知らせ下さい。

※ 検査時間は注射から検査終了まで約3時間です。

妊娠中、妊娠の可能性のある女性、授乳中や乳幼児がいる方はあらかじめ医師にお知らせ下さい。